

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	3	週時数	4
教科	英語	グループ名	S		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、また読むことや書くことなどの指導を通して、実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。 ・習熟度別学習グループの利点を十分に生かし、高等部に進学し、さらに大学進学までつながる英語の力を身に付けさせる。 				
担当教員	下野 正恵				
年間授業時数	140				
使用教科書	東京書籍『NEW HORIZON English Course 3』				
副教材等	NEW HORIZON 3 基礎の確認（東京書籍）、英語のたてよドリル3年（正進社）、中3英語をひとつひとつわかりやすく（学研教育出版）、自作教材（プリント等）、Welcome to Tokyo				

学 習 計 画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫 配慮事項
前期	4	Unit0 Unit1	11	新しい文の形・意味・用法を理解し、あるテーマについて書かれた文章の内容を読み取ったり、書いたりする技能を身に付ける。 ・受け身 ・現在完了形の経験用法／S V O C（C＝形容詞）／S V O O（that節）	・予習と復習で活用する授業用ノートと、演習用ノートの2冊を用意し、授業時間外の学習の手立てを明確にする。 ・授業時間内は、電子黒板やホワイトボードを活用する。文法説明や補充問題のためのプリントを適宜配布し、専用のファイルに保管して、間違えやすい箇所を確認しやすいようにする。 ・文法項目やキーワードは文字カードを作成し、繰り返しホワイトボードに貼って活用することで理解の定着に繋げる。
	5	Unit2 Grammar for communication1	14	新しい文の理解をもとに、現在まで続いている状態や動作について理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・現在完了形の完了用法・継続用法／現在完了進行形 ・現在完了形や現在完了進行形を用いて、これまでの経験や、過去から現在へとつながる状態や動作を伝える技能を身につけている。	・授業時間内は、電子黒板やホワイトボードを活用する。文法説明や補充問題のためのプリントを適宜配布し、専用のファイルに保管して、間違えやすい箇所を確認しやすいようにする。 ・文法項目やキーワードは文字カードを作成し、繰り返しホワイトボードに貼って活用することで理解の定着に繋げる。
	6	Unit3 Grammar for communication2	13	新しい文の理解をもとに、自分たちにとって大切なことやだれかにしてほしいことについて伝え合う技能を身につけている。 ・It is ... (for+人)+to~/want+ (人など)+to~/let[help]+ (人など)+動詞の原形 ・不定詞を用いて、人にしてほしいことや、人にとって大切なことなどを伝える技能を身につけている。	・授業時間内は、電子黒板やホワイトボードを活用する。文法説明や補充問題のためのプリントを適宜配布し、専用のファイルに保管して、間違えやすい箇所を確認しやすいようにする。 ・文法項目やキーワードは文字カードを作成し、繰り返しホワイトボードに貼って活用することで理解の定着に繋げる。
	7	Stage Activity1 Let's Read1	12	・Unit3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って場面の変化や登場人物の心情を読み取る技能を身につけている。	・毎時間の予習を宿題にして、事前に本文の意味を授業用のノートに書いて持参する。授業中は間違えた箇所をノートに加筆し訂正する。授業で取り扱った範囲を問題集で復習することも、帰宅後の課題として毎時間取り組むことで、深い学びと理解の定着を図る。
	9	Unit4	12	新しい文の理解をもとに、どこにあるか、どのように行動するかなどを伝え合ったり、言葉に情報を加えて説明したりする技能を身につけている。 ・間接疑問文／S V O O（what節）／分詞の限定用法と後置修飾	・毎時間の予習を宿題にして、事前に本文の意味を授業用のノートに書いて持参する。授業中は間違えた箇所をノートに加筆し訂正する。授業で取り扱った範囲を問題集で復習することも、帰宅後の課題として毎時間取り組むことで、深い学びと理解の定着を図る。
後期	10	Unit5 Grammar for communication3	14	新しい文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明する技能を身につけている。 ・名詞を修飾する文／関係代名詞 who,that[which]（主格・目的格） ・後置修飾を用いて、情報を加えて説明する技能を身につけている。	・生徒一人一台端末を、ロイロノートで英作文・授業導入で活用し、カフトで毎回の授業の復習をグループ内で問題を解き競い合いながら確認する。ICT機器を有効的に活用していく。
	11	Unit6	15	新しい文の理解をもとに、現実とは異なる願い事や架空の話などを伝える技能を身につけている。 ・仮定法／主語を説明する関係代名詞を用いた文	・生徒一人一台端末を、ロイロノートで英作文・授業導入で活用し、カフトで毎回の授業の復習をグループ内で問題を解き競い合いながら確認する。ICT機器を有効的に活用していく。
	12	Grammar for communication4	13	・仮定法を用いて、願いや現実とは異なることを伝える技能を身につけている。	・生徒一人一台端末を、ロイロノートで英作文・授業導入で活用し、カフトで毎回の授業の復習をグループ内で問題を解き競い合いながら確認する。ICT機器を有効的に活用していく。
	1	Let's Read2	12	・長所と短所を比較して述べる文章の構成の理解をもとに、エネルギー問題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	・生徒一人一台端末を、ロイロノートで英作文・授業導入で活用し、カフトで毎回の授業の復習をグループ内で問題を解き競い合いながら確認する。ICT機器を有効的に活用していく。
	2	Let's Read3	14	・メッセージを伝える文章の構成の理解をもとに、生き方について書かれたスピーチの原稿を読み取る技能を身につけている。	・生徒一人一台端末を、ロイロノートで英作文・授業導入で活用し、カフトで毎回の授業の復習をグループ内で問題を解き競い合いながら確認する。ICT機器を有効的に活用していく。
	3	まとめ	10	・中学英語で習得すべき単語、熟語、文法を理解し、総合的に活用することができる。	

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	3	週時数	3
教科	国語	グループ名	S		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し伝え合う力を高める。 ・思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語を尊重する態度を育てる。 ・演習問題等に取り組み、理解を深める。 				
担当教員	加藤一恵				
年間授業時数	105				
使用教科書	「伝え合う言葉 中学国語3」教育出版「中学書写」教育出版				
副教材等	「国語便覧」浜島書店、「楽しく学ぼう！すらすら基本文法」浜島書店、「基礎の学習 国語3年」新学社、「漢字の学習」教育出版、「サマーアプローチ国語3年」教育同人社、「中学基礎がため100%できた！中3国語[読解編]」くもん出版、国語辞典、電子黒板、自主作成プリント等				

学 習 計 画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫 配慮事項
前期	4	「文法」助詞 「春に」 「立ってくる春」	8	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞のはたらきについて理解する。 ・言葉の中の春を読む。詩の技法を理解する。 ・文章の種類を踏まえ、展開の仕方に着目し筆者の考えを捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。 ・考えたこと、思ったことを文章で表現する機会を多く設定する。 ・ICT 機器の効果的な活用を図る。
	5	「なぜ物語が必要なのか」 「私」 「薔薇のボタン」	9	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や経験と結び付けて文章を読み、評価する。 ・作品を読み、人間、社会などについて考え、自分の意見をもつ。 ・文章を読み、知識を広げ、自分の考えを深める。 	
	6	「メディアリテラシーはなぜ必要か？」 「漢字の広場1」 「AIは哲学できるか」 「漢字の広場2」	12	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの情報を主体的・批判的に読む視点を身に付ける。 ・漢字の音の歴史についての理解を深める。 ・「哲学」など筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ・熟字訓についての理解を深める。 	
	7	「一言でまとめ一言から話す」 「説明文を書く」 硬筆書写	7	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめる言葉と具体的な体験などの関係について考え、表現を共有する。 ・読み手に説明するために構成を工夫する。 ・社会生活で必要な知識や技能を身に付ける。 	
	9	「async」 「問いかける言葉」 「批評文を書く」	11	<ul style="list-style-type: none"> ・事例と主張とを関係づけて読む。 ・文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 ・伝えたいことを明らかにし説得力のある文章を書く。 	
後期	10	「文法」助動詞 「ニュースで情報を編集する」 「旅への思い」 「和歌の調べ」	11	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞のはたらきについて理解する。 ・情報の選び方、構成の効果について考える。 ・「おくのほそ道」を歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。 ・若の技法や歴史的背景を踏まえ、和歌を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。 ・考えたこと、思ったことを文章で表現する機会を多く設定する。 ・ICT 機器の効果的な活用を図る。
	11	「風景と心情」 「最後の一句」 「俳句の味わい」	11	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え心情を理解し考えを深める。 ・森鷗外の作品にふれ、近代の小説や物語を読む。 ・俳句の言葉の意味を掘り起こして読む。 	
	12	「初恋」 「故郷」 毛筆書写「書き初め」	9	<ul style="list-style-type: none"> ・文語定型詩を読み味わう。 ・理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ・新年に書きたい四字熟語を選び、行書で書く。 	
	1	「自己PR文を書く」 「持続可能な未来を創るために」 「自分の意見を述べるとき」	9	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手の助言を踏まえ、良い点、改善点を理解する。 ・持続可能な社会の実現に向けて自己変容を通じて未来を考える。 ・裁判員制度について知り、社会で必要とされる言葉の力について考える。 	
	2	「バースデイガール」 「スピーチをする」	9	<ul style="list-style-type: none"> ・語りの特徴に注意しながら読み、考えを交流する。 ・中学部生活で学んだことについて、スピーチ原稿にまとめる。 	
	3	書写 「青春の歌」 「やわらかい想い」	9	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの多様な文字に関心を持ち、書写の学習を深める。 ・さまざまな文章にふれ、今後の読書生活に生かす。 	

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	3	週時数	4
教科	数学	グループ名	S		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解する。 ・数学的な表現や処理の仕方を習得する。 ・数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方の良さを知る。 ・数学で学んだことを進んで活用する態度を育てる。 				
担当教員	對馬 健太 (S1)、富永 佑志 (S2・S3G1)				
年間授業時数	140				
使用教科書	教育出版「中学数学3」				
副教材等	正進社「数学の学習ノート3 教出版」 日本教育出版「毎日の計算トレーニング3」				
学 習 計 画					
	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	4	1 式の計算	25	<ul style="list-style-type: none"> ○単項式と多項式の乗法, 除法 ○多項式の乗法 ○乗法の公式 ○因数分解 ○乗法の公式を利用する因数分解 ○式の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 1・情報機器を活用する。(電子黒板・デジタル教科書・PCなど) 2・重要事項は、ホワイトボードに短冊、模造紙を貼り、構成された板書にする。 3・日常生活の例を挙げ、興味・関心を高めるように支援する。 4・家庭学習が定着するために、毎回宿題を出す。 5・学習の定着を図るため、練習問題や小テストを多く取り入れる。 6・授業後に学習内容が自ら確認できるようなノート作りを行う。
	5				
	6	2 平方根	15	<ul style="list-style-type: none"> ○2乗するとaになる数 ○有理数と無理数 ○平方根の乗法, 除法 ○平方根の加法, 減法 ○平方根のいろいろな計算 ○平方根の活用 ○近似値と有効数字 	
7	3 2次方程式	24	<ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式とその解 ○因数分解による解き方 ○平方根の考えによる解き方○2次方程式の解の公式 ○いろいろな2次方程式 ○2次方程式の活用 		
9					
後期	10	4 関数 $y=ax^2$	24	<ul style="list-style-type: none"> ○関数 $y=ax^2$ ○関数 $y=ax^2$ のグラフ ○関数 $y=ax^2$ の値の変化 ○関数 $y=ax^2$ の活用 ○いろいろな関数 	
	11				
	12	5 相似な図形	20	<ul style="list-style-type: none"> ○相似な図形 ○三角形の相似条件 ○三角形の相似条件と証明 ○三角形と比 ○中点連結定理 ○平行線と線分の比 ○相似な図形の面積 ○相似な立体の表面積と体積 ○相似な図形の活用 	
	1				
	2	6 円	10	<ul style="list-style-type: none"> ○円周角の定理 ○円周角の定理の逆 ○円周角と弧 ○円周角の定理の活用 	
3					
2	7 三平方の定理	12	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理 ○三平方の定理の逆 ○平面図形への活用 ○空間図形への活用 		
3	8 標本調査	10	<ul style="list-style-type: none"> ○母集団と標本 ○母集団の数量の推定 ○標本調査の活用 		

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	3	週時数	4
教科	理科	グループ名	S		
ねらい	自然の事物・現象に進んで関わり、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての基本となる理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。				
担当教員	高木 邦彰				
年間授業時数	140				
使用教科書	「理科の世界3」 大日本図書				
副教材等	「大日本図書版 教科書びったりトレーニング中学3年」 新興出版社 「グラフィック理科資料集」 新学社				
学 習 計 画					
	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	4	単元1 運動とエネルギー	32	① 力の合成と分解…力のつり合いについて学習する。	1. 電子黒板・デジタル教科書・タブレット PC などの情報機器を活用する。 2. 授業後に復習できるようなノート作りを行う。 3. 学習の定着を図るため、練習問題や小テストを行う。 4. 答えの根拠まで考え、自分なりに答えられるようにしていく。 5. 自然現象について、科学的に考え、説明できるようにしていく。 6. 電子黒板とホワイトボードを併用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。
	5			② 水中の物体に加わる力…水中で加わる力について学習する。 ③ 物体の運動…物体のいろいろな運動の様子を学習する。 ④ 仕事とエネルギー…理科でいう「仕事」とは何を表すのかを考える。	
	6	単元2 生命のつながり	24	① 生物の成長とふえ方…生物の成長とふえ方を細胞のはたらきから考える。 ② 遺伝の規則性と遺伝子…祖先のもっていた特徴がどのように伝えられるか学習する。 ③ 生物の種類と多様性と進化…生命の連続性について学習する。	
	7			① 生物どうしのつながり…自然界での多くの生物の関わり合いを学習する。 ② 自然界を循環する物質…生態系の中で生命と環境の間を物質がどのように循環しているか考える。	
9	単元3 自然界のつながり	12	① 水溶液とイオン…イオンとはどのようなものなのか考える。 ② 化学変化と電池…電池から電気エネルギーを取り出す仕組みを学習する。 ③ 酸・アルカリとイオン…酸とアルカリの正体は何か、イオンとの関係性を考える。		
後期	10	単元4 化学変化とイオン	28	① 天体の動き…太陽等の動きや季節による星座の違いを観察し、その理由を考える。 ② 月と惑星の運動…月や他の惑星の動きや地球との違いを学習する。 ③ 宇宙の中の地球…地球の仲間の惑星や太陽の特徴を調べ、宇宙にはどのような天体が存在し、どのように広がっているか考える。	
	11			① 自然環境と人間…自然環境と人間との関わりについて考える。 ② 科学技術と人間…科学技術の発展により豊かになった生活を考える。	
	12	単元5 地球と宇宙	24	① 自然環境と人間…自然環境と人間との関わりについて考える。 ② 科学技術と人間…科学技術の発展により豊かになった生活を考える。	
	1			① 自然環境と人間…自然環境と人間との関わりについて考える。 ② 科学技術と人間…科学技術の発展により豊かになった生活を考える。	
	2	単元6 地球の明るい未来のために	20	① 自然環境と人間…自然環境と人間との関わりについて考える。 ② 科学技術と人間…科学技術の発展により豊かになった生活を考える。	

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部		学 年	3	週時数	3	
教科	社会科（公民的分野）		グループ名	S			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・政治・経済・国際社会に関する基礎的・基本的内容の定着を図る。 ・社会的事象に関心を持ち、自ら考えようとする態度を育てる。 ・資料を収集、選択する能力や、そこから考察し、公正に判断する態度や表現する能力を育てる。 						
担当教員	星野美由紀						
年間授業時数	105						
使用教科書	日本文教出版『中学社会 公民的分野』 / 帝国書院『中学校社会科地図』						
副教材等	正進社『公民の資料』、日本文教版『中学教科書ワーク 社会公民』						
学 習 計 画							
	月	単元名 (題材名)	指導 時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）			指導の工夫 配慮事項
前期	4	私たちと 現代社会	9	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちがいきる現代社会の特色 ・現代社会の文化と私たち ・現代社会の見方・考え方 			<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。 ・学習内容を身近に感じられるように、タイムリーに新聞記事や身近な事例を取り上げる。 ・資料をもとに読み取ったことや、まとめたことを発表する場面を多く設定し、内容理解を深めていく。 ・重要語句については、必要に応じてルビをふり、正確に読み書きができるようにする。
	5		10	<ul style="list-style-type: none"> <S> 			
	6		13	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化など、現状・課題を身近な生活と関連付けて考察し、理解する。 			
	7	私たちの生活と政治～個人の尊厳と日本国憲法～	7	<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づく政治と日本国憲法 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の平和主義 			
	9	私たちの生活と政治～国民主権と日本の政治～	12	<ul style="list-style-type: none"> <S> ・民主政治のしくみやマスメディアの影響力、考え方を知り、主権者として政治に参加する意義について理解する。 ・資料を活用し、政治の動きを多面的にとらえる。 ・国の政治のしくみ 			
後期	10	私たちの生活と経済	12	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加 <S> ・民主政治のしくみやマスメディアの影響力、考え方を知り、主権者として政治に参加する意義について理解する。 ・資料を活用し、政治の動きを多面的にとらえる。 ・国の政治のしくみ 			
	11		10	<ul style="list-style-type: none"> <S> ・国会を中心とする民主政治のしくみや政党の果たす役割と課題について理解する。 ・内閣と国会とのかかわり、内閣と行政機関のしくみやはたらきについて理解し、行政の課題について考える。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることを理解する。 			
	12		8	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしを支える地方自治 <S> ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解する。 			
	1	私たちの生活と経済	7	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活と経済のしくみ ・生産の場としての企業 <S> ・経済の基本的な概念を理解し身近な事例から経済について考える。 ・消費生活や経済活動などの資料を読み取り、課題について図やグラフなどにまとめる。 			
	2	私たちの生活と経済	9	<ul style="list-style-type: none"> ・金融のしくみとお金の価値 ・財政と国民の福祉 <S> ・租税・財政に関する新聞記事や資料を活用し、日本の抱える財政面での課題を読み取る。 ・社会保障制度のしくみを理解し、将来の課題について考える。 			
	3	私たちの課題	8	<ul style="list-style-type: none"> ・国家と国際社会 <S> ・国際社会における日本の役割や国際貢献の在り方について考える。 ・国際社会の課題と私たちの取り組み 			
				<ul style="list-style-type: none"> ・行政・企業・地域が取り組んでいることについて調べたり、実態をまとめたりする。 ・持続可能な社会をめざして <S> ・各自の課題を設定し、調べまとめる。 			

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部		学 年	3	週時数	1
教科	社会科（歴史的分野）		グループ名	S		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史の流れを知る。 日本や世界がどのように変化して、現在の社会ができたかを考察する。 日本の文化や歴史用語（人名、年代、社会現象や制度）を正しく理解し、書くことができる。 歴史現象の因果関係を考察し、理解することができる。 					
担当教員	成田 真緒					
年間授業時数	35					
使用教科書	新しい日本の歴史					
副教材等	歴史の資料、教科書トレーニング、中学社会スーパー歴史年表					
学 習 計 画						
	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）		指導の工夫 配慮事項
前期	4	第一次世界大戦前後の日本と世界	8	<ul style="list-style-type: none"> 第1次世界大戦 ロシア革命と第1次世界大戦の終結 第1次世界大戦の原因とその結果が世界に及ぼした影響について考察し、理解する。 選挙法の改正により、参政権の変化を資料から読み取る。 ベルサイユ条約と国際協調の動き 		<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。また、使用するペンの色や文字の大きさに配慮する。 学習内容を身近に感じられるように、タイムリーに新聞記事や身近な事例を取り上げる。 資料をもとに読み取ったことや、まとめたことを発表する場面を多く設定し、内容理解を深めていく。 重要語句については、必要に応じてルビをふり、正確に読み書きができるようにする。
	5					
	6					
	7					
	9					
後期	10	第二次世界大戦終結までの日本と世界	3	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌 ・共産主義とファシズムの台頭 世界恐慌がアメリカからおこり全世界に波及した理由を考察し、理解する。 全体主義が人々の自由を奪っていく様子を資料から読み取る。 		<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。また、使用するペンの色や文字の大きさに配慮する。 学習内容を身近に感じられるように、タイムリーに新聞記事や身近な事例を取り上げる。 資料をもとに読み取ったことや、まとめたことを発表する場面を多く設定し、内容理解を深めていく。 重要語句については、必要に応じてルビをふり、正確に読み書きができるようにする。
	11		4	<ul style="list-style-type: none"> 日中戦争 ・第2次世界大戦 二・二六事件に関心を持ち、事件が起きた経緯を調べる。 第2次世界大戦が始まった経緯とその展開について考察し、理解する。 		
	12		4	<ul style="list-style-type: none"> 太平洋戦争 ・戦時下の暮らし ・戦争の終結 太平洋戦争がおこった原因と戦争の経緯について考察し、理解する。 国民生活の厳しい状況について考える。 		
	1		3	<ul style="list-style-type: none"> 戦争の終結 ・占領下の日本と日本国憲法 戦後の日本の占領政策について調べ、まとめる。 		
	2		4	<ul style="list-style-type: none"> 朝鮮戦争と日本の独立回復 ・冷戦と日本 米ソを中心とする東西対立へ推移していったことを読み取る。 		
	3		3	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦の終結と日本の役割 現代の政治状況と冷戦時の政治状況を比較し、考察する。 高度経済成長時代から平成に至る日本の歩みを理解する。 		